

令和8年3月6日  
道路局企画課

## 国連との共同で「第2回質の高い道路インフラ整備に関する国際ワークショップ」を開催しました

～気候変動と老朽化の潮流を踏まえ、持続可能で強靱な道路について意見交換～

令和8年2月25日から27日にかけて、国連大学において、国土交通省は国際連合地域開発センター（UNCRD）と「第2回質の高い道路インフラ整備に関する国際ワークショップ」を開催しました。本ワークショップはアジア太平洋・アフリカ地域等における質の高い道路インフラへの理解増進等を目的として、11か国の道路分野の高官・行政官が参加し、先進技術等に関するセッションや現場見学に加え、活発な意見交換・知見共有を行いました。

今後も、国土交通省は質の高い道路インフラの海外展開の取り組みを推進していきます。

※本ワークショップは、アジア太平洋地域等における質の高い道路インフラへの理解増進等を目的としたUNCRDとの共同プロジェクトとして、令和6年度から開催しています。

### ■ワークショップの結果概要

(1) 開催日：令和8年2月25日（水）から27日（金）の3日間

(2) 場 所：国連大学

(3) 主催者：国土交通省、UNCRD

(4) 参加者：11か国（※）16名の道路分野の高官・行政官

※インド、インドネシア、カンボジア、キルギス、ケニア、タイ、  
パプアニューギニア、フィジー、ベトナム、マレーシア、ラオス

(5) 議事次第（詳細は別紙をご参照ください）

（1日目）

1. オープニング（国土交通省技監 廣瀬 昌由、UNCRD所長 村田 重雄 氏）
2. 基調講演（東京大学教授 加藤 浩徳 氏）
3. 各国参加者によるプレゼンテーション、ラウンドテーブルディスカッション
4. 国土交通省セッション（国土交通省道路局企画課国際室長 嶋田 博文）

（2日目）

1. 道路舗装の先進技術に関するセッション（日本道路建設業協会）
2. 鋼橋の先進技術に関するセッション（日本橋梁建設協会）
3. 現場見学会 中央自動車道・多摩川橋床版取替工事現場  
多摩アスコン再生アスファルトプラント

（3日目）

1. コンクリート構造の先進技術に関するセッション（PC建設業協会）
2. 高速道路の先進的な運営・維持管理に関するセッション（NEXCO 3社）
3. グリーンな道路インフラ開発への資金調達に関するセッション（ADB、JICA）
4. クロージング（参加者代表（インド）、UNCRD所長 村田 重雄氏、  
国土交通省道路局企画課国際室長 嶋田 博文）

### 【問い合わせ先】

道路局 企画課 国際室 仲谷、矢部

電話 03-5253-8111（内線：37542）、直通 03-5253-8906



## ■ワークショップの結果

### (1日目)

#### 1. オープニング

- ・UNCRD村田所長より、本ワークショップの開会宣言がなされました。
- ・廣瀬技監は、質の高い道路インフラの重要性を強調し、本ワークショップへの期待を述べました。

#### 2. 基調講演（東京大学教授 加藤 浩徳氏）

- ・台風・豪雨・地震・津波等の災害が重なる時代において、被災後ただの復興ではなく、仙台防災枠組で提唱された Build Back Better（より良い復興）が紹介されました。
- ・その後、日本の道路分野の災害対応として、予防から緊急対応、復興の各段階において、日本が蓄積してきた事例が紹介されました。最後に、災害に対する道路ネットワークの脆弱性の概念の紹介とその脆弱性の低減することの重要性が伝えられました。

#### 3. 各国参加者によるプレゼンテーション、ラウンドテーブルディスカッション

- ・各国参加者より、各国の道路インフラの現状・課題（老朽化・維持管理・交通安全・気候変動・財源等）と対応策（先端技術・データ活用、資産管理、PPP・資金調達、持続可能な材料等）について情報共有がありました。
- ・その後、各国参加者によるグループワークが実施され、各国の課題や対応策について活発な意見交換が行われました。

#### 4. 国土交通省セッション（国土交通省道路局企画課国際室長 嶋田 博文）

- ・質の高い道路インフラには民間の先端技術に加え、計画・施工・運用・維持管理の一貫した制度・基準等の整備が不可欠として、先端技術を導入していくための国土交通省の取り組みについて知見を共有しました（橋・トンネルの定期点検、再生アスファルトの利用、災害を踏まえた基準更新、NETISによる技術活用、総合評価型入札への転換等）。

### (2日目)

#### 1. 道路舗装の先進技術に関するセッション（日本道路建設業協会）

- ・酒井重工業より、最新ローラ（振動タイヤローラ・オシレーションローラ）の最適活用による締固め品質の向上やシームレス施工による平坦性・密度の確保等について知見共有がありました。
- ・鹿島道路より、ツインバブルフォームドアスファルト、高耐久性舗装、全天候型常温補修材など、耐久性と環境配慮を両立する新製品群について知見共有がありました。
- ・花王より、廃プラスチックを有効活用したアスファルト改質剤や植物由来リジュベネータを活用したCO2削減と舗装長寿命化に資する材料技術について知見共有がありました。
- ・東亜道路工業より、橋梁床版舗装設計と樹脂接着防水工法（下地処理・界面接着・植物由来樹脂によるCO2削減・排水ディテールの重要性）について知見共有がありました。

#### 2. 鋼橋の先進技術に関するセッション（日本橋梁建設協会）

- ・IHIインフラシステムより、鋼橋の長支間への適用性、軽量性と工場製作・夜間一括架設による短工期、狭隘条件下での設計自由度、耐震対策、防食と計画的点検・再塗装による長寿命化、災害時の迅速復旧方策について知見共有がありました。

#### 3. 現場見学会（中央自動車道・多摩川橋床版取替工事現場、多摩アスコン再生アスファルトプラント等）

- ・橋梁床版取替の施工・維持管理手法やアスファルトの製造・リサイクル技術等について現場視察を行いました。

### (3日目)

1. コンクリート構造の先進技術に関するセッション（プレストレスト・コンクリート建設業協会）
  - ・三井住友建設より、エクストラード橋やバタフライウェブ構造について知見共有がありました。
  - ・鹿島建設より、河内川橋を中心にコンクリート橋の本邦技術について知見共有がありました。
2. 高速道路の先進的な運営・維持管理に関するセッション（NEXCO 3社）
  - ・NEXCO中日本より、高速道路概論や渋滞・交通安全対策等について知見共有がありました。
  - ・NEXCO西日本より、橋梁点検や更新プロジェクト等について知見共有がありました。
  - ・NEXCO東日本より、防災・災害対応等について知見共有がありました。
3. グリーンな道路インフラ開発への資金調達に関するセッション（ADB、JICA）
  - ・ADBより、「Green Roads Toolkit」及び資金調達について知見共有がありました。
  - ・JICAより、気候変動の影響を考慮したトンネルや橋梁等の質の高い道路インフラ整備への協力等について知見共有がありました。
  - ・その後、登壇者及び参加者によるグループワークを実施し、グリーン道路の建設に関する課題や対応策について議論が行われました。
4. クロージング
  - ・参加者代表（インド）より、ワークショップ開催に関する謝意と、本ワークショップで得られた知見や繋がりを今後の取り組みに活かしていきたい旨の抱負が述べられました。
  - ・UNCRD村田所長は、本ワークショップの参加者への感謝を述べました。
  - ・嶋田室長より、本ワークショップで得られた知見が、参加されたアジア太平洋・アフリカ地域等の国々との連携により、各国の政策立案に役立っていくことについて期待を述べて閉会宣言をされました。



開会挨拶（UNCRD 所長 村田 重雄氏）



開会挨拶（国土交通省技監 廣瀬 昌由氏）



オープニングセッション集合写真



基調講演（東京大学教授 加藤 浩徳氏）



講義の様子



ラウンドテーブルディスカッションの様子



現場見学会（中央自動車道・多摩川橋）



閉会挨拶（UNCTAD 所長 村田 重雄氏）



閉会挨拶（国土交通省道路局  
企画課国際室長 嶋田 博文）